

# 「ふあーすと」の紹介

「ふあーすと」は、雲南市教育委員会が開設計している「不登校の子どもたちや引きこもりがちな若者にとっての居場所」です。

不登校や引きこもりは、現代日本の大きな教育課題です。ひと昔前なら「学校には行くものだ」「大人になったら仕事をやるものだ」という考えから、不登校や引きこもりは本人や保護者の問題（我慢が足りない・わがまま・甘やかし・しつけの問題など）ととらえらる傾向がありました。

しかし、社会情勢や子どもたちをめぐる教育環境の変化など、「本人や保護者の問題」では片付けられないということが明らかになりました。

**不登校や引きこもりの原因**は様々です。人付き合いが苦手（自分のことがうまく伝えられない・気遣いでストレスがたまらない・自信が持てない）ほめられた経験が少ない等）、多様な価値観に対する戸惑い（大人数の中で活動した経験が少ない等）、周囲の期待が大きなプレッシャーになる等々…。さらに、原因は一つとは限らず、いくつもの事柄が絡み合っていることもあります。したがって、その

解決に向けた支援も多種多様です。

しかし、支援の方法は様々でも目標は一つです。それは、「**社会的な自己**」ということですが、私たちが生きていくには知識や技能のほか、周囲の人と付き合うための協調性や人間関係力などが必要で、これらの力を身につけるのに最適な場が「学校」なのですが、学校に行くことを最終目標ととらえる時、間違った焦りを感じてしまい、逆に子どもを追い込んでしまうことになってしまいがちです。

上の学校に進学しても学校を卒業して社会に出て、友達や家族、周囲の人々と関係を保ちながら勉強や仕事を続けていってほしい。そのために少し長い目で子どもを見つめ、その時々の状況に合った支援ができればと思っています。「学校に行けないのなら家にいるしかない」という状態から「今は学校に行けなくても、あそこなら行ける」という状態になれば…。そんな居場所を提供できたらと思っています。

合併前は「三刀屋町教育相談センター（通称：梅子教室）」として、学校に行きにくかったり行っても教室に入りにくかったりする子どもや保護者を対象にした教育相談を行ってまいりました。平成17年には、このセンターが果たす役割を次のように見直し、「ふあーすと」という名前を再スタートしました。（場所はアスパル横）

◎来所してスタッフと雑談するなど、「相談」に限らず多様な利用目的に対応します。  
◎小中学生とその保護者だけでなく、青年層にも利用してもらえよう、利用対象を広げます。

◎必要に応じて在籍学校や関係機関と連絡を取り合い、多面的・総合的な支援をします。

このような施設を利用する際、学校は「学校の役割が果たせなくなるのでは…」家庭は「学校との距離が遠のいてしまうのでは…」という不安を持たれることが多いようです。そのような不安の中にも、ごまめに連絡を取り合い、**学校と家庭をつなげる役割**も果たしていきます。

また、「子どもとのかかわり方でちよつと悩んでいて…」というような内容でもお気軽においでください。不登校・引きこもりだけでなく、そうならないための支援にも重点を置いていきます。

【問】ふあーすと  
☎0854・45・5176



## 学社連携・融合による教育活動の推進

### コーディネーター通信

第6号



海潮中学校駐在 錦織 慎司

私が駐在している海潮中学校について感じたことと、私自身も課題として捉えている家族の会話について、自分のことは棚に上げてお話をさせていただきます。

海潮中学校は市内で最も小さな中学校です。全校生徒は45名、校区内に小学校は1校のみです。毎日がアットホームな雰囲気です。地域の人も学校のことに関心を持っていただいております。体育祭や文化祭などの学校行事は毎回多数の方が来校され、とても賑やかです。海潮中学校で一番驚いたことは、生徒達が実に素直で「屈託がない」ことです。それまで抱いていた「中学生像」と言うのがいかに現実とずれていたかを思い知らされました。ところで、突然ですがみなさんはこの問題が解決しますか？

現在の島根県の人口は何人か。次から最も近いものを選び、記号で答えなさい。

ア 74万人 イ 84万人 ウ 94万人 エ 64万人

鎌倉時代の民衆の多くは文字の読み書きがあまりできなかったにもかかわらず、「平家物語」の内容は民衆にもよく知られていました。その理由を答えなさい。

日本の太平洋側を南から北に向けて流れる海流の名前を答えなさい。

私がこの原稿を書いている今、ちょうど中学校は2学期の期末テストの真っ最中です。先ほどの問題

は、それぞれ「3年生」「1年生」「2年生」の社会科の問題です。

皆さんの中には、家族・親戚に中学生のいる家庭がたくさんあると思います。皆さんは、その中学生が今何を学んでいるかご存知ですか？

今、子ども達と家族の会話がとても少なくなっていると言われています。その一因になっているのが「子ども達のメディア漬け」だと思われ、雲南市で平成17年度行った生活実態調査でも、同様の傾向が見られます。「この問題も、テレビやインターネットを「目的」にせず、「手段」にすることで「解決の糸口が見えてくるのではないかと思います。つまり「観る」ことで終わるのではなく、「そこで観たことについて家族で「話す」、そのための手段としてメディアを活用すれば「メディア漬け」から脱することが出来るのではないかと思います。もちろんそのためには、子ども達が何を観ているのか、他の家族が知る必要があります。情報化された社会の中で生きる以上、そういったメディアを活用するのは避けて通れない道です。ならば、そういったメディアの負の部分に子ども達のみをまねないよう、家庭で子ども達が触れているメディアについて話をしたいだけではないと思います。

もつお気づきでしょうか、突然私が問題を出したのは、子ども達の最大の関心事である期末テストの内容について家族で何か会話をされたかお聞きしたかったからです。子ども達は我々大人が思っているよりもはるかに小さなことに強いストレスを感じています。それを未然に防ぐためにも、どんな些細なことについても家族の会話を大切にしていきたいと願っています。

教育支援コーディネーターは現在、子ども達が健やかに、誇りある雲南市民に育つよう様々な施策を展開しています。皆さまも、何かお気づきになりましたらぜひ教えてください。我々の力の及ぶ限り、全力で取り組む決意であります。



# わが家のHOPE



西村龍二さん・知美さんのお子さん  
いっしん 一真くん（大東町下阿用）  
平成18年1月7日生まれ  
笑顔の素敵ないっちゃん、健康で元気いっぱい大きくなってね！



星野寿幸さん・かほりちゃんのお子さん  
ひでし 英寿くん（三刀屋町三刀屋）  
平成18年1月4日生まれ  
優しい佳奈お姉ちゃんが大好きで、毎日遊んでもらいます。2人仲良く大きくなってね！



武田尚志さん・亜純子さんのお子さん  
まな 真奈ちゃん（木次町宇谷）  
平成18年1月25日生まれ  
だっこ大好き甘えんぼ真奈♡わが家の大事な宝物だよ。生まれてきてくれてありがとう♡



永瀬紘樹さん・久美子さんのお子さん  
いっき 一稀くん（加茂町加茂中）  
平成18年1月13日生まれ  
1歳おめでとう！一稀の笑顔が皆大好きだよ♡元気にたくましく優しい子に育ってネ♡



景山順和さん・久美子さんのお子さん  
いっか 依知香ちゃん（大東町大東）  
平成18年1月13日生まれ  
いっぱい遊んで、いっぱい笑って、元気に大きくなってください♡



飯塚博之さん・真理子さんのお子さん  
あつや 敦也くん（木次町里方）  
平成18年1月31日生まれ  
いたずら大好き★食べるの大好き★でもいちばんは、ももちゃんと涼ちゃんだよ♡

2月で満1歳（平成18年2月生まれ）になるお子さんを募集！

写真にコメント（40字程度）を添え、郵送またはメールで1月9日（火）までに情報政策課へお送りください。  
【問】情報政策課 ☎0854・40・11015  
E-Mail: youhouseisaku@city.nanshima.jp  
※市ホームページの中でも市報うんなんに掲載します。